

郵便はがき

63円切手をお貼りください

1 1 3 8 4 6 2

東京都文京区湯島 2-4-4 全労連会館 4F

戦争する国づくりストップ！

憲法を守り・いかす共同センター 行

*切手を貼って投函していただくか、署名に取り組んでいる団体・個人にお渡しください。

私の一言

戦争をする国づくり NO!

戦争しないと誓った9条を 変えてはならない

安倍首相は「必ずや、私自身の手で憲法改正を成し遂げる」と9条改憲に異常な執念を燃やしています。しかし、国民の多数の声は「安倍首相による改憲には反対」です。

国民が改憲を望んでいないのに、憲法尊重擁護義務(憲法99条)のある首相が改憲にアクセルを踏むなど、それこそ憲法違反です。

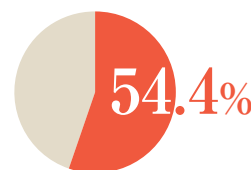


米軍MV22オスプレイに載って敵地を攻撃する自衛隊(2019年2月5日、滋賀県・養父野(あいぼの)演習場での日米共同訓練＝滋賀民報社提供)

9条壊す「安倍改憲」

安倍首相は、「9条に自衛隊を書きこむだけ。何も変わらない」と言います。しかし、明記される自衛隊は、「災害救助で頑張る自衛隊」でも、「専守防衛を建前とする自衛隊」でもありません。戦争法の下で、米軍と共に海外で武力行使をする「自衛隊」です。このような「自衛隊」を憲法に明記して認めれば、9条が死文化して海外で戦争する国になってしまいます。

安倍首相の下での改憲に反対



共同通信世論調査
(2019年12月14・15日実施)より

9条を生かした平和外交を

アジア太平洋戦争の筆舌に尽くしがたい惨禍を教訓に、「二度と戦争しない」と決めた憲法9条。「戦争はしない(1項)」「そのための戦力は保持しない(2項)」と定めた憲法9条のもとで、戦後74年間、自衛隊員が海外で「殺し殺される」ことはありませんでした。憲法9条が海外での武力行使への歯止めとなってきたのです。

いま、平和を実現するために、最も大切なことは、戦争を起こさないことです。戦争は、憎しみと報復の連鎖を生むだけです。武力から平和は生まれません。「紛争は話し合いで解決」という9条のルールが世界の流れです。

だれの子とも
ころさせない
せんそうのどうぐ
つくるのやめよう



幕張メッセで開催された武器の見本市に抗議のスタンディング

私たちの合い言葉「だれの子ともころさせない」にはすべての命を守りたいという思いがあり、同時にその命を軽々しく「駒」として扱う為政者への怒りも含んでいます。

もう一つの「せんそうのどうぐつくるのやめよう」という合い言葉は戦争で儲かる武器商人たちとその利権に群がる為政者に向けたものです。私たちは政治を監視し、戦争を始めさせないために声をあげ続けます。

安保関連法に反対するママの会@ちば(金光理恵さん)

いのち・くらし・平和
守りいかそう憲法

安倍9条改憲NO!

戦争する国づくりストップ！憲法を守り・いかす共同センター

TEL:03-5842-5611 FAX:03-5842-5620 <http://www.kyodo-center.jp/> (2020年3月)

